

## 日 誌 (昭和 37 年 8 月)

### 【国 内】

- |   |   |
|---|---|
| <p>1 日 ○本行、新たに業務を開始した中央信託銀行との間に当座預金、手形割引、手形貸付および為替決済の各取引を開始</p> <p>2 日 ○本行、政府保証付債券(予定額 500 億円のうち 300 億円)の売戻し条件付買入れを実施</p> | <p>4 日 ○第41臨時国会開会</p> <p>10日 ○人事院、政府と国会に対し一般職国家公務員給与の引上げを勧告(平均 7.9%アップ)</p> <p>13日 ○本行、政府保証付債券(8月2日実施分を除く 残余 200 億円)の売戻し条件付買入れを実施</p> |
|---|---|

### 【海 外】

- |  |   |
|--|---|
| <p>1 日 ○オーストリア、8 条国へ移行</p> <p>2 日 ○ニューヨーク連銀、西ドイツ・ブンデスバンクと 50 百万ドル(約 200 百万ドイツ・マルク)のスワップ取決めを締結</p> <p>5 日 ○英国、E E C 加盟交渉中断(10 月まで持越し)<br/>○韓国、要求払預金に対する支払準備率を 14% から 20% へ引上げ(9 月 1 日より実施)</p> <p>6 日 ○ジャマイカ、英連邦の一国として独立<br/>○イタリア、国家経済計画委員会(C P E)を設置</p> <p>7 日 ○豪州政府、1962~63 年度予算案を議会に提出</p> <p>8 日 ○ベルギー、公定歩合を 4 % から 3.75% へ引下げ(9 日から実施)<br/>○台湾・市中金利の一部を引下げ</p> <p>10 日 ○ケネディ米大統領、1963 年度国防予算法案(総額 481 億ドル)に署名<br/>○ジューフェンベーカー・カナダ首相、蔵相更迭を含む大幅な内閣改造を発表</p> <p>13 日 ○ケネディ米大統領、全米向け放送で法人・個人所得税の即時減税は行なわない旨言明<br/>○オランダ、支払準備率を 8 % から 7 % へ引下げ(22 日から実施)</p> | <p>15 日 ○西イリアン協定正式調印</p> <p>22 日 ○イタリア、関税 10 % 引下げを決定(28 日から実施)<br/>○フィリピン中央銀行、特定融資に対する公定歩合引下げ(6 % → 3 %)</p> <p>25 日 ○国連コーヒー会議、期限 5 年の新コーヒー協定を採択</p> <p>28 日 ○アルゼンチン政府、全輸入品目に対する 20% の緊急輸入賦課金を廃止する旨発表。</p> <p>29 日 ○ケネディ米大統領、ゴールドバーク労働長官を最高裁判事に任命(30 日、ワーツ労働次官を後任に任命)<br/>○オーストリア、関税引下げ(25% → 15%)を決定(9 月 1 日から実施)</p> <p>30 日 ○フランス、大統領直接選挙制への憲法改正につき 10 月末に国民投票実施と発表<br/>○マラヤ、市中銀行金利引下げ(貸出最低利率 6½% → 6¼%、定期預金最高利率 4½% → 4 %)</p> <p>31 日 ○セネガルおよびソマリア、IMF、世界銀行、IFC、および IDA に加盟<br/>○トリニダード、英連邦の一国として独立</p> |
|--|---|